

蔵満 薫 (2000 年卒)

留学施設 Harvard Medical School, Beth Israel Deaconess Medical Center

留学期間 2008 年～2010 年

大学院を卒業した後に、research fellow として 2.5 年間留学しました。研究では肝再生モデルの実験、臨床では donation に従事できました。アメリカのラボは非常にオープンで、良いデータが出なければいつでもテーマを変えて良い、好きなだけ実験をして良いというスタイルでした。また Harvard 大学の最先端の先生方と容易に collaboration することができ、最終的には Hepatology に論文を掲載することができました。現在でも当時の先生方と研究協力できていることは私にとっての財産です。自分の得意分野を極めたい人にとって、留学は自身にとって、将来の研究の足掛かりになる最高のチャンスです。頼れるものは自分しかない過酷な環境でもありますが、興味がある方は是非とも挑戦してください。



手術室、ヘリポートのある west campus



同僚と